

ON!

Old but New

伝統を残しながら、変わり続ける街
大手町・丸の内・有楽町の
街づくりを発信する情報誌

滞在する街、大丸有。
HOTELS

表紙写真：ザ・ペニンシュラ東京 デラックススイートよりお台場方面を望む。

2007 AUTUMN
012

ホテルから、大丸有が見えてくる。



ホテルメトロポリタン丸の内34階のエグゼクティブツインルームより有楽町、丸の内方面を望む。

都市機能のほとんどすべてをぜいたくに兼ね備えた大手町、丸の内、有楽町(大丸有)。
それを象徴するかのように、この街には個性的なホテルが多数存在し、さまざまなニーズに応えている。
そして、日本国中、いや世界中から人が集まり、快適なホテルライフを送っている。
ことばを変えると、この街は“滞在する街”でもあるのだ。
今回は視点をかえて、ホテルという存在を通してこの街を見てみる。



パレスホテル10階のクラウンレストランより皇居外苑、丸の内を望む。

丸ノ内ホテル



「OMOTENASHI」の心を大切にしたい。
だから案内サインは、できるだけ設けない。



3ブロックに分かれたレセプションデスク

機能的な街であるとともに、心通うコミュニケーションがある温もりのある街。そんな大丸ののMindと共生するコンセプトであるのが丸ノ内ホテルだ。このホテルでは、“案内サイン”を最小限にとどめている。何でも表示するだけが親切と考えていないからだ。気兼ねなく尋ねてもらふ雰囲気を作ることに、それに気持ちよく応えること。そして、心を察してコミュニケーションすること。ホテルマン一人ひとりが“案内サイン”の役割を果たしている。こうというのがこのホテルの心意気。レセプションデスクが3ブロックに分かれているのも、One to Oneでお客さんとホテルマンがひとつのテーブルを挟んでチェックインからチェックアウトまでじっくりコミュニケーションするためだ。



案内サインも最小限にとどめている

<address>
千代田区丸の内1-6-3 03-3217-1111
<http://www.marunouchi-hotel.co.jp/>

パレスホテル

千代田区丸の内1-1-1。
皇居の杜を背景に、優美に過ごす。



10階クラウンレストランから日比谷、霞が関方面を望む

この街は、日本でただひとつ、皇居前に広がる街である。そして、その皇居外苑の緑に佇むかのように位置するのが、その名もパレスホテル。緑と水に囲まれたこのロケーションは優美というほかない。すべてのゲストは、「朝食に行く前に、ぜひ窓をお開けください。フレッシュエアを味わうことができます」と案内される。東京のど真ん中にして、この環境、という自信のあらわれである。また、その景観も優美である。10階クラウンレストランから日比谷公園まで一望できるその眺望には、電飾看板がいっさい入ってこない。パレスフロントならではの、真の優美がここにある。ゲストの5割が外国からのお客さまというもうなずける。

<address>
千代田区丸の内1-1-1 03-3211-5211
<http://www.palacehotel.co.jp/>



1階テラスレストラン スワンから「羽忘れの庭」さしにお濠を望む

KKRホテル東京

オフィス街にあって、
誰もが気軽に滞在できる。



12階のレストラン「東京」からの夜景

皇居外苑を望む東京の都心に公共の宿があるということに驚かされる。正式名称は「国家公務員共済組合連合会東京共済会館」。一般の人でもリーズナブルな価格で利用できるというからありがたい。このホテルの特徴は、全国各地から東京を訪れる方々に向け、多彩な宿泊プランを用意していること。ホテルに隣接する皇居周辺を散策するプランや、東京にある美術館・博物館の56施設で利用できる特典バスをセットにしたプランなどが人気。一世を風靡した名ジャズバンド「シャープス&フラッツ」のメンバーも参加している平均年齢71歳の『現役』ジャズバンド「プラチナベンシヨナーズ」によるマンズリーブッフエ&コンサートも好評だ。



「プラチナベンシヨナーズ」のコンサート風景

<address>
千代田区大手町1-4-1 03-3287-2921
<http://www.kkr-hotel-tokyo.gr.jp/>

フォーシーズンズホテル 丸の内 東京



国際派ビジネスマンの
プライベートを完璧にサポート。



24時間オープンフィットネスジム

国際都市大丸を支えるように、このホテルにはインターナショナルに活躍するビジネスマンを完璧にサポートする体制がある。ゲストルームには、ビジネスを遂行するための最新の設備が備えられている。ベッドはキングサイズが用意され、疲れた心と体をゆっくり休めることができる。高速インターネットアクセス、2回線スピーカーフォン、データポートに加えて、プリンター、コピー、ファクシミリ、スキャナーまで用意されており、ビジネスミーティングにも理想的な環境となっている。日課として行っているフィジカルトレーニングも、時差を超えて遂行できるよう、フィットネスジムを24時間利用できるのも嬉しい。

<address>
千代田区丸の内1-11-1
パンフィックセンチュリープレイス丸の内
03-5222-7222
<http://www.fourseasons.com/jp/marunouchi/>



ベッドはキングサイズでゆっくり休める

ホテルメトロポリタン丸の内



ビジネス仕様を極めつつ
観光の拠点としても機能する。



ビジネス仕様の机と機能的な椅子

ビジネスの街であり、観光の街でもある大丸有の特徴を象徴するかのよう
に、今年5月に登場したのがこのホテル。疲れた体を癒すべく用意された
ベッドは、超高級ホテルでも使用しているシモンズ社製の6.5インチボケ
ットコイルピロートップ付。ゲストルームのデスク周りも秀逸で、ヘッド部分
がついた椅子は完全なオフィス仕様だ。もちろん、インターネット回線も無
料。28階にはミーティングルームまで用意されている。
しかしこのホテルは、ビジネスマンのためだけのもの
ではない。東京駅の天空に位置する景観のすばらし
さと新幹線に直結する足回りの良さから、東京観光
の拠点として利用する人も多い。食も充実しており、
東京駅という立地を活かし、全国から集まる食材を
使ったフレンチにファンが多い。



バスルームからの
大丸有ビューも見逃さない

<address>
千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー27~34階
03-3211-2233
http://www.hm-marunouchi.jp/

ザ・ペニンシュラ東京

本物が似合う街。本物に触れるホテル。

皇居外苑と日比谷公園の
向かいという最高のロケ
ーション。24階のビル丸
ごとがホテルという圧倒的
な存在感。1階「ザ・ロビ
ー」で愉しむアフタヌーン
ティー。洗練された室内、
レストラン。そして、伝説と
もいべき「ペニンシュラ
ホスピタリティ」。本物が
似合うこの街にオープンし
たのが、世界を代表する
ホテル、ザ・ペニンシュラ
東京である。ここでは、本
物に出会い、本物を味わ
い、本物のサービスを受
けることができる。とはい
え、決して一部の人のためのスノッパなホテルで
はない。一度訪れた人は、そのフレンドリーな雰
囲気に驚くだろう。誰にでも開かれたあたたかい
ホテル、それがザ・ペニンシュラ東京である。



「ザ・ロビー」で愉しめるアフタヌーンティー



ロールスロイスの送迎サービス

<address>
千代田区有楽町1-8-1 03-6270-2888
http://www.peninsula.com



シャングリ・ラ ホテル 東京

COMING

SOON

東京ステーションホテル

東京駅に隣接する、はじめての超高級
外資系ホテル、2009年に誕生。

次々とホテルやビルが完成し、日本の表玄関として姿を整えつつあるこ
の地域。その開発のひとつの節目となると思われるのが、現在建設中の
「丸の内トラストタワー本館」。2009年2月末にオープンする
シャングリ・ラ ホテル 東京だ。「シャングリ・ラ」は、香港を拠点に50以上の
ホテルを要する超高級ホテル。そのなかで、シャングリ・ラ ホテル 東京は、
高品位なホテル運営はもちろんだが、一番の特徴はその立地にある。外資
系ではじめて、すべての新幹線の発着駅であるJR東京駅に隣接。日本の
ゲートウェイとしてこれからますます発展してゆく東京の象徴となるだろう。

<address> 千代田区丸の内1-8 丸の内トラストタワー本館27~37階

この街のランドマーク的存在のホテルが
2012年、再びその姿を現す予定。

東京駅の開業の翌年、1915年に開業した東京ステーションホテル。以
来、多くの文化人に愛されながら、この街の変化を正面から見据えてき
たわけだが、東京駅丸の内駅舎の復原工事のため、昨年3月をもって一
時営業を休止している。このホテルが再びその雄姿を現すのは2012年
の予定。東京駅舎の一部がホテルとして機能するというユニークな在り
方は、まさにこの街のランドマーク的存在。日本を代表するセントラルス
テーションに相応しい客室(約150室)、レストラン、宴会場を検討してい
るといい、今から完成が待ち遠しい。

<address> 千代田区丸の内1-9-1



I N T E R V I E W

日本を代表する ベストロケーションを選ぶ

ザ・ペニンシュラ東京
マーケティングディレクター
浅井 信一路

世界有数のビジネス地域であるTOKYOに進出するのはかねてからの願いでした。ただ、ザ・ペニンシュラホテルズの場合、どの都市に出店するにしても、ベストロケーションを選ぶという点では絶対に妥協しません。今回も、ビジネス街である大手町や丸の内、ショッピング街である有楽町、銀座にいずれも徒歩圏であること。皇居という日本を象徴する場所に隣接していること。こうしたロケーションが出店の決め手となりました。つまり、大丸有が持つ“正統派”“大人の街”といった雰囲気、そのままペニンシュラのテイストでもあるのです。

まだ、開業してわずかな時間しか経っていませんが、パワーブレックファストに利用されるビジネスマンの方も多く、改めてこの街の持つ活力に驚かされています。ただ、ペニンシュラはビジネスマンに限らず、幅広いお客様にご利用いただけるホテルです。この街を訪れるあらゆる世代の方に、ペニンシュラのさまざまな側面を体験していただけると嬉しいですね。



発行：大手町・丸の内・有楽町地区
再開発計画推進協議会

〒100-8133 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル635区
TEL.03-3287-6181 FAX.03-3211-4367
<http://www.lares.dti.ne.jp/~tcc/>

* 本誌に関するご意見、ご感想等ございましたら
右記までお寄せください。e-mail:tcc@lares.dti.ne.jp

まち歩き携帯ナビ



「東京丸の内ユビキタス
ミュージアム」へようこそ



T O P I C S

有楽町イトシア竣工

JR有楽町駅前の再開発による複合商業施設「有楽町イトシア」が10月12日にオープンした。「ITOCiA」は、愛しい+ia（場所を表す名詞語尾）から名付けられた。

〔概要〕 敷地面積：6,808.12m²
主要用途：事務所、店舗、駐車場
最高高さ：高層棟 107.8m、低層棟 31.3m
階 数：地上21階・地下1階・塔屋1階
延床面積：76,466.87m²



大手町1丁目6地区開発について

みずほ銀行大手町本部ビルと大手町フィナンシャルセンターとを都市再生特別地区を活用し、一体的に建て替える計画で、8月に都市計画決定された。建物の竣工は平成25年度に予定されている。

〔概要〕 名 称：大手町1丁目6地区
敷地面積：約11,000m²
主要用途：事務所、商業施設、ホテル等
制 度：都市再生特別地区
最高高さ：約200m(予定)
延床面積：約200,000m² (予定)
竣 工：平成25年度(予定)



「光都東京・LIGHTOPIA 2007」開催

12月20日から12月31日にかけて、「光都東京実行委員会」(当協議会も委員として参加)主催の光の祭典が開催される。皇居外苑の「アンビエント・キャンドルパーク」、花と光による「フラワー・ファンタジア」等、大丸有地区全体で展開される予定。



光都東京・LIGHTOPIA商標申請済